

ワレンチナ・マトヴィエンコ・ロシア連邦議会上院議長による開会の辞

2012年6月30日

(内閣府仮訳)

代表団長、APEC事務局代表、ビジネス諮問委員会メンバー、本フォーラムのオブザーバーとゲストの皆さん！ 「女性と経済フォーラム」へのご参加を心より歓迎いたします。

サンクトペテルブルクはこの会議の開催地として熟慮の上で選ばれましたが、我が北の都の比類ない美しさと詩的な環境、そして女性が独特の役割を演じてきたというその歴史的特徴が、実りある議論のために役立つものと信じています。

ロシアにとって、今年のAPEC議長国を務めることには特別な重要性があります。私たちは、アジア太平洋地域(APR)への統合プロセスに積極的に関わっていくことを目指しています。また、APEC加盟国とこの地域全体がともに持続可能な成長を遂げるためには、既存の能力を活用することが重要と考えています。

本日の会議では、「女性と経済の政策パートナーシップ(PPWE)」の枠組みにおける二日間の議論と、昨日パネルディスカッションの形で行われた国と民間の対話の結果を総括します。代表団の皆さんが積極的に参加し、忌憚なく幅広い意見を表明し、この機会を明らかな実りあるものにしてくださっていることに、深く感謝申し上げます。

参加者の皆さん、フォーラムへようこそ。ロシアは2012年APECフォーラムの議長国として、今後も「女性と経済の政策パートナーシップ(PPWE)」を支持していくことをお約束いたします。今回のフォーラムの主題そのものが、アジア太平洋地域(APR)の経済のように急速に変化する経済を含めて、経済へ女性が関与を深め、より幅広く積極的に参加しつつあることを証明しています。

このプロセスが揺るぎないものになってきたと信じるに足る今や十分な根拠があります。事実過去10年にわたり、経済に参加する女性の数は男性に比べて急速に増加しています。2010年には、女性雇用労働者の総数が12億人、すなわち世界経済における雇用労働者総数の約40%に達しました。国際機関によれば2020年までに、さらに8億7,000万人の女性が加わるとされています。

これらの数字は、女性が世界経済の重要な要素となっていることを示しています。女性が男性と対等に経済や政治・公共活動に参加し、また自身の知的、専門的、創造的な能力や起業家精神を十分に発揮する機会を得れば、世界経済全体に効果がもたらされることになるでしょう。

女性が経済に参入するとともに、経済において、社会や時代遅れの伝統の中にある一

一般的なジェンダー偏見による制約に左右されるのではなく、彼女達の教育や職業の水準に応じた役割を担えるよう、私たちが全力を尽くして支援すべきなのはそのためです。世界的危機の新たな波が迫る今、このような協調的努力は特に重要です。

こうしたあらゆる問題に関しては最近、政治指導者と国際的大企業のトップが参加したサンクトペテルブルク経済フォーラムで実質的な議論が行われました。私たちの立場は、既存の世界的金融・経済システムの近代化に向けた世界コミュニティの協調的努力によってのみ、繰り返される危機の脅威を取り除くことができる、というものです。まさにロシア連邦大統領ウラジミール・プーチンが述べたように、国際通貨基金(IMF)などの国際金融機関に新たな経済環境を反映させるべく、宣言から真の改革へと移行する時が来ています。

この新たな環境の不可分かつ極めて重要な要素の一つが APEC フォーラムです。その加盟エコノミーは世界人口の 40%、世界の GDP の 57%を占めています。言い換えれば、APEC は世界の経済情勢の形成に責任を負うセンターの一つなのです。

APEC エコノミーの女性は、この地域のあらゆる側面で重要な役割を果たしています。この会場には、APEC エコノミーの経済、行政、政治の各界の代表だけでなく、これらの分野で認められた指導者の姿も見られます。

「女性と経済の政策パートナーシップ(PPWE)」の初回会合で採択されたサンフランシスコ宣言では、経済における女性の役割を拡大できる 4 つの分野を挙げています。すなわち、資本へのアクセス、市場へのアクセス、職業的能力の向上、そして女性のリーダーシップです。ロシア連邦を含めた APEC エコノミーはすべて、これらの問題の解決に成果を上げてきました。

経済における女性の役割を大きく拡大するため、我が国では多くの取り組みがなされてきました。今日ロシアの女性は国の発展を支える強い力となっており、教育（就労者の 81%）、医療（80%）、金融活動（67%）、商業（62%）で優位に立っています。経営に携わる女性も相当数(42%)にのぼり、中小企業の約 30%は女性が所有者です。かつては完全に男性で占められていた経済のイノベーション部門でも女性が成功し、IT、製薬会社、バイオ医療技術のトップの中にも女性が数多く存在します。

200 年前まで遡ると、有名なフランスの思想家シャルル・フーリエは、「人類の社会的進歩は女性の社会参加の程度に正比例する」と述べています。私たちと世界の経験は、ともにこの言葉が真実であることを証明しています。私は、女性が人生のあらゆる側面への積極的な参加と育児や家族責任をバランスよく両立できるようにする国の政策を支持します。もちろん、これは女性自身の選択であるべきであり、あらゆる女性が選択権を持つべきです。

しかし、政界や連邦・地域の権力機関のトップの座に就く女性の数に関しては、我が国がいくつかの国々に遅れをとっていることを認めるべきでしょう。女性の利益を適切に代弁するには、少なくとも 30%の議席が必要と考えられています。列国議会同盟 (IPU)によれば、議会に占める女性の割合が 30%に達している国は 187 カ国中 31 カ国に過ぎず、残念ながらそこにロシアは含まれていません。

とは言え、女性の創造的・公共的な能力を高めるために我が国で生み出された条件とその実現によって、多くの聡明な自立した女性が政界や権力機関に関与できるようになっています。さらに、社会のあらゆる側面への女性の関与を支援する上で、法的枠組みの設定が重要な役割を果たしています。

前述のように、ロシアではこの点において非常に多くの取り組みがなされてきました。しかし、私たちの前途にはまだ多くの仕事が残されており、APEC メンバーを含めて他の国々の経験を取り入れる必要があります。

あらゆる兆候を見れば、このところ国内経済、世界経済の不安定な時期が、よく言われるように長く続いています。女性の雇用と女性のビジネスへの支援に関する問題が、私たちのフォーラムでこれほど重要となるのはそのためです。私たちは、女性のビジネスの市場への参入、資本へのより良いアクセスの確保、専門的な教育と技能の向上への援助など、さまざまな問題を支援する実践的な措置を講じなければなりません。

この点では、投資プログラムと事業、包括的な信用・税制政策、民間企業を設立するためのローン、性差別の要素を排除するための手段などの形で、この地域の女性起業家を支援する合意された政策を、APEC の枠組みの中で検討することが重要でしょう。私たちは、女性の起業への投資を利益につなげる要因を考慮することにより、この方向での国の政策を決定すべきであると考えています。

ビジネスにおける女性のリーダーシップには特に注目すべきです。現在、国や民間企業の最高幹部に女性が少ないことは事実です。その責任を、積極的な差別だけに負わせようとは思いません。人事政策の怠慢、家事と仕事の両立の難しさ、場合によっては国の伝統など、それは多様な要因の影響です。私たちは、より積極的に女性をビジネスのトップの座に就かせるための手段を提案しなければなりません。

ロシアは、「女性と革新的経済成長」というトピックをこのフォーラムに設定することにより、APEC 地域の革新的経済成長の促進に対する女性の貢献をより正確に分析することを提案しました。革新的開発こそ、この地域を将来的に繁栄させる鍵であるからです。

私の意見では、今回の議論を終えた時、女性の直接的な参加とリーダーシップによる革新的中小企業、ビジネスインキュベーター（創業支援機関）、テクノパーク（先端

技術集積地域)、サイエンスパーク(先端科学技術研究開発拠点)、ベンチャーファンド、及び直接投資ファンドの開発に関する具体的な提案や提言が形成されているべきです。

女性は、子供を持つことその他家族の喜びを味わいながら健全で円満な家庭生活を送ると同時に、政治、経営、ビジネス、科学などの分野で意義深く充実した職業生活を維持することができます。国と社会が積極的に支援すれば、この機会はそれを選択したあらゆる女性にとって現実となります。そうした場合においてのみ、女性は自らの文化的・精神的成長の中で職業、起業的野心、家庭のバランスを築くことができます。

ロシアの社会政策の根底にあるのはこのアプローチです。我が国では、子供のいる女性と家庭が十分な配慮を受けていると言わせてください。女性には、18カ月の有給出産休暇を取る権利があります。特に母親手当プログラムについて触れたいと思いますが、このプログラムでは第二子の出産時に女性に10,000ドル余りの一時金が交付されます。また、年齢の異なる子供がいる家庭にはさまざまな給付金が支払われます。数人の子供がいる家庭には、家を建てる無料の土地区画、無料のアパート、建築のための割引クレジットが提供されます。幼稚園の数は急速に増えつつあり、フレックスタイムの雇用に関する手続の策定や、出産休暇中の女性への職業訓練の提供など、その他にも多くの取り組みが進められています。

ロシア連邦大統領はごく最近、児童のための2012~2017年の国家戦略に署名しました。これは、ロシア議会の上院と下院が積極的かつ直接的に参加し、市民社会の機関、識者、専門家を可能な限り幅広く関与させつつ策定されました。職業生活と家庭生活のバランスのとれた両立に寄与する社会基盤を構築してきたロシアの経験は、他のAPECエコノミーの関心を集めることになるでしょう。

挨拶を終えるに当たり、私が確信していることを述べさせていただきます。私は、本フォーラムでの作業が今後、APEC地域経済への女性の参加のさらなる向上と発展に大いに資するものと信じています。また、本フォーラムによって採択される提案や提言は、来るウラジオストクでのAPEC会議で考慮されることになるでしょう。

もう一つ付け加えたいのは、ロシアが2013年1月にウラジオストクで行われるアジア太平洋議員フォーラムで議長国を務めることです。私たちはパートナーと協力してその準備に積極的に取り組むとともに、興味深いアジェンダの策定を進めています。このアジア太平洋議員フォーラム(APPF)が、あらゆる参加者にとって極めて興味深いものとなることを確信しています。

私たちはそのフォーラムの枠組みの中で、アジア太平洋地域(APR)経済に対する女性のより幅広く効果的な参加を保証すべく、共同作業を含めた取り組みのあらゆる結果

と成果を役立てたいと考えています。ご清聴ありがとうございました。